

I C T機器活用実践事例集（学習指導案作成用）

中学校第2学年	教科	保健体育
単元名	武道「柔道」	
授業者	松永大生	
本時の目標	固め技（けさ固め）において、模範動画と撮影した自分の動画を比較して相手に返されないポイントを見つけることができる。	
本時を選んだ理由	柔道の固め技（けさ固め）においては、相手から返されないよう効率的に抑えるために、自分たちの動きを撮影し視聴できるタブレットの活用は有効であると考えた。	
前時までの授業の流れ	1 学年時の復習もかねて、基本動作、受け身（後ろ受け身、横受け身）、固め技の確認をしている。また、固め技においては返し方、返し方のポイントを確認している。	

学習展開

学習の流れ	主な学習活動		I C T活用の留意点
導入	既習事項の確認 本時の学習内容・めあての確認	① 準備体操・補強運動・受け身の練習 ・準備体操を行う。 ・補強運動（ブリッジ、エビ）を行う。 ② 受け身 ③ 学習活動・めあての確認 相手に返されない抑え込み（けさ固め）のポイントを見つけよう	
展開	課題発見 課題解決	① 1 ペア，全体の前で確認もかねてやってみせる。（良いところ，課題などを考えさせる） ② プロジェクターで模範動画を見せる。 ・模範動画を見て，けさ固めの形，動きを確認させる。 ③ 3 人一組で袈裟固め ・グループで役割分担する。（受，取，撮影者） ・撮影者は「受」と「取」のけさ固めを見て，課題を見つける。 ・「受」，「取」「撮影者」をそれぞれ交代する ・3 人全員の動画を撮影する。 ④ 模範動画と撮影した動画を比較しながらグループでミーティングをする。（それぞれの課題などを話し合う） ・課題解決に向けての方法を考える。 ・ホワイトボードに記入させる。 ⑤ グループごとに話し合った内容を発表する。 ⑥ 話し合いを踏まえて，もう一度グループに分かれて技をかける。	【プロジェクター】 袈裟固めの模範動画を流して、袈裟固めのイメージを膨らませる。 【タブレット】 自分たちの袈裟固めをグループごとに撮影。 【タブレット】 自分たちの撮影した動画と、模範動画を比較しながら、課題解決に向けてグループで話し合う。

終末	まとめ	<p>①見つけたポイントをワークシートに記入する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>★めざす生徒の姿 振り返り（授業・学習カード）に、以下のことが含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の腕をわきでしっかり挟む。 ・相手の胸を中心に体重をかける。 ・相手に密着する。 ・足を曲げた状態で、バランスをとる。 ・後ろ襟をしっかり握る。 </div> <p>②次時の学習活動の確認</p>	
----	-----	---	--

（成果）

ほとんどのグループで、模範動画と自分たちの動画を比較することで、自分たちの課題、また、相手に返されなかったためのポイントを見つけることができた。

（課題）

授業準備の段階で、動画をあらかじめタブレットに入れておかなければならないなど時間がかかることが多かった。また、授業の中で模範動画と比較するために自分たちの動画を撮影する中で、撮影する角度、撮影する時間をあらかじめしっかり指定しておかないと、模範動画との比較にならないので、その指導をもう少し丁寧に行う必要があった。

（授業後の生徒の振り返り）

今回の授業では固め技において、相手に返されない抑え込みをするためにそのポイントを見つけていった。模範動画と自分の動画を比較することでどこができていてどこができていないかなどのポイントを見つけることができた。また、今回は「返されないようにするためのポイント」も見つけることができたので、次回は逆に「相手を返すポイント」も見つきたいという意見もあった。